

## もっと安心農産物 キャベツ(春どり) 栽培暦 (令和2年度)

JAちばみどり 海上野菜組合産直部

### 1. 土づくり

・完熟堆肥2トン/10aを施用するか、エン麦・ギニアグラス・ハブソウを輪作体系として作付けする

### 2. 施肥 ☆施肥診断にもとづく施肥量の遵守 **化学肥料窒素成分使用量14kg/10a以下**

**基肥は①、②のいずれかを選択する。**

	肥料名	施肥量
基肥	①マイルドユーキ030号(10-13-10 有機態窒素 5.3)	120kg/10a以下
	②エコレット866(8-6-6 有機態窒素 4.1)	160kg/10a以下
	苦土石灰	60kg/10a
追肥	マイルドユーキ030号(10-13-10 有機態窒素 5.3)	40kg/10a

### 3. 防除 **化学合成農薬 8成分回数まで (苗購入の場合6成分回数まで)**

(Zボルドー・スピノエース顆粒水和剤・エスマルクDFは化学合成農薬に含めない)

月	管理作業	病害虫の発生推移	薬剤名	希釈倍数・処理量	回数	対象病害虫	備考 (耕種的防除の実施等)	
10月上旬	播種	ネキリムシ	①ネビジン粉剤又はネビリュウ	20~30kg/10a (播種又は定植前)	2回	根こぶ病	害虫の発生量を減らすため圃場周辺の除草をする 育苗床は害虫防除のため寒冷紗でトンネル被覆をする	
中旬			ヨトウムシ	②カルホス微粒剤F	6kg/10a (播種時又は植付時)	1回		ネキリムシ類
下旬								
11月上旬	エスマルクDF	1000~2000倍 発生初期(但し、収穫前日まで)					—	
中旬		1000倍 発生初期(但し、収穫前日まで)	—	ヨトウムシ ハイマダノメイガ				
12月上旬	定植	↑ アブラムシ・コナガ ↓	③フォース粒剤	4kg/10a (定植時)	1回	ネキリムシ類	黒腐病の発生が多い場合は、 ⑧カスミンボルドー1000倍 (収穫7日前・4回)を散布する	
中旬			④アフーム乳剤	1000~2000倍 (収穫前日)	3回	コナガ ヨトウムシ		
下旬			Zボルドー	500倍	—	黒腐病		
1月上旬	結球初期	↑ 菌核病 ↓					アブラムシ類発生の場合は、 ⑨モスピラン顆粒水溶剤を2000~4000倍(収穫7日前・5回)散布する。アブラムシ類・ネギアザミウマ発生の場合は⑩コルト顆粒水和剤を3000倍(収穫前日・3回)散布する	
中旬								
下旬								
2月上旬	追肥						コナガの発生が多い場合は、 ⑪フェニックス顆粒水和剤2000~4000倍(収穫前日・3回)⑫プレオフロアブル1000倍(収穫7日前・2回)⑬コテツフロアブル2000倍(収穫前日・2回)⑭ハチハチ乳剤1000~2000倍(収穫14日前・2回)スピノエース顆粒水和剤2500~5000倍(収穫3日前・3回)等を散布する	
中旬			⑤ロブラール水和剤	1000倍 (収穫7日前)	4回	菌核病		
下旬			⑥トルネードエースDF	1000~2000倍 (収穫7日前)	2回	コナガ		
5月~	収穫		⑦グレーシア乳剤	2000~3000倍 (収穫7日前)	2回	コナガ ウワバ類 アオムシ		

☆みんなで守ろう生産基準